

重点目標一覧表

【平成28年度重点目標】		
重点目標	地域包括ケアシステム構築に向けた取組	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
1	<p>新しい総合事業実施に向けた事業への取組み</p> <p>(1)通所型サービスAモデル事業の新規実施</p> <p>(2)地域リハビリテーション事業の実施</p> <p>(3)地域サロン事業の推進</p> <p>在宅医療・介護連携事業の推進</p> <p>(1)医療介護関係者間での資源把握のための検討会の開催</p> <p>(2)医療介護関係者向けの研修会開催</p> <p>認知症施策の実施</p> <p>(1)認知症初期集中支援チームの設置検討</p> <p>(2)認知症カフェ設置の推進</p> <p>(3)認知症高齢者等支援ネットワーク協議会開催</p>	<p>平成29年度から総合事業に移行</p> <p>(1)18か所で実施</p> <p>(2)86か所で実施（H27年度末22か所）</p> <p>(3)16か所に対して助成</p> <p>在宅医療・介護連携事業を推進</p> <p>(1)上小市町村担当者会議3回、研究会4回開催</p> <p>(2)研修会を1回実施（3/17）</p> <p>平成29年度から初期集中支援チームを設置</p> <p>(1)検討会2回開催</p> <p>(2)2か所に対して助成</p> <p>(3)協議会2回開催、小委員会1回開催</p>
2	重点目標	住民の参加と協働による地域福祉の推進
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
	<p>第二次地域福祉計画に基づく地域福祉の推進</p> <p>(1)住民支え合いマップの更なる定着と有効活用の促進</p> <p>(2)地域福祉推進リーダーの養成</p> <p>民生委員・児童委員の一斉改選</p>	<p>地域福祉を推進</p> <p>(1)新たに1自治会で取り組み開始、台帳のデータベース化を検討中</p> <p>(2)3月17日にリーダー養成講座実施（800人）</p> <p>推薦会2回、委嘱式を12月8日に実施（333名）</p>
3	重点目標	生活困窮者の自立支援強化
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
	<p>生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者支援の適切な実施</p> <p>(1)就労準備支援事業の実施</p> <p>(2)家計相談支援事業の実施</p> <p>(3)子どもの学習支援事業の実施</p> <p>適切な生活保護の実施と制度の運用</p> <p>社会就労センターあり方検討委員会の答申内容に沿った事業の遂行</p> <p>臨時福祉給付金の円滑な給付</p>	<p>生活困窮者支援の適切な実施</p> <p>(1)生活保護受給者を含め10名に対し支援を実施</p> <p>(2)相談者21名に対し家計相談支援を実施</p> <p>(3)生活保護世帯の中学生3名（中1-1名、中3-2名）に対し学習支援を実施（中3の2名は高校合格）</p> <p>9世帯の就労自立給付金活用による支援により7世帯が就労を開始、内1世帯が自立となった。また、看護師との同行訪問等により延べ201件の健康指導を行い、42人が特定健診を受診し上田事業所を3月末で廃止した。</p> <p>3回の給付金業務を円滑に実施（合計43,428人に交付）</p>
4	重点目標	共生社会の実現を目指した障がい者支援の充実
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
	<p>障がいへの理解と啓発</p> <p>・障害者差別解消法への対応</p> <p>・職員の障がいへの理解の向上</p> <p>・市民等への啓発</p> <p>障がい特性に応じた支援体制の充実</p> <p>・地域生活支援拠点の体制整備</p> <p>・障がい者の権利擁護の推進</p> <p>障がいのある方の経済的な自立を支援</p> <p>・障害者就労施設等からの優先的な物品等の調達</p>	<p>障がい理由とした差別事案を受付（6件）、関係機関等への助言を実施</p> <p>・4月に新任職員及び管理職員、10月に一般職員を対象とする職員研修を実施、職員対応要領の冊子を9月に全職員に配付</p> <p>・6月にリーフレットを全戸配付、出前講座を4回開催、広報うえだ12月号と2月号で啓発</p> <p>・支援必要者の台帳整備</p> <p>・輪番制等により緊急ショートステイ(常時1床の確保)の体制整備</p> <p>・11件の虐待通報を受け、事実確認等を適切に対応</p> <p>年度末 調達額：3,746,685円</p>
5	重点目標	医療費適正化の推進と国保財政の健全な運営
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
	<p>医療費適正化への取組</p> <p>・特定健診、若年健診受診率の向上</p> <p>・後発医薬品利用率の向上</p> <p>国保収納業務における収納管理課との連携の推進</p> <p>国保単単位化に向けた準備及び国保税率の検討</p> <p>常設の年金相談所設置への働きかけ</p>	<p>・特定健診受診率 35.0%（2月末暫定値）</p> <p>・若年健診受診者数 288人（前年比168人増）</p> <p>・後発医薬品使用割合 71.9%（1月末）</p> <p>・窓口での口座振替の勧奨。納税通知書等に依頼書を同封</p> <p>・短期被保険者証窓口交付の実施 9月859世帯 3月465世帯</p> <p>・現行システムの継続使用とシステム修正を実施</p> <p>・平成29年夏過ぎの納付金算定結果を待ち税率改定を行う</p> <p>平成29年4月に常設の年金相談センターの設置が決定</p>

評価基準 [: 目標を上回る達成] [: 目標どおり達成] [: 目標未達成の部分あり] [x : 全て目標未達成]

【平成29年度重点目標】		
重点目標	地域包括ケアシステム構築に向けた取組	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
1	<p>介護予防・日常生活支援総合事業の推進</p> <p>(1)訪問型・通所型サービスA新規事業所の参入</p> <p>(2)地域リハビリテーション事業の実施 (3)地域サロン事業の推進</p> <p>在宅医療・介護連携事業の推進</p> <p>(1)情報共有等を目的とした在宅医療・介護連携推進事業研究会の開催</p> <p>(2)在宅医療・介護連携に関連した研修会の開催 (3)情報共有のための手段の構築</p> <p>認知症施策の実施</p> <p>(1)認知症初期集中支援チームの運営 (2)認知症カフェ設置の推進</p> <p>(3)認知症高齢者等支援ネットワーク協議会開催</p> <p>生活支援体制整備事業の推進</p> <p>(1)第1層協議体の会議開催 (2)第1層協議体の生活支援コーディネーター配置</p> <p>(3)第2層協議体、生活支援コーディネーター配置検討</p> <p>第7期高齢者福祉総合計画の策定</p>	<p>(1)5箇所を目標に実施</p> <p>(2)90箇所を目標に実施 (3)新規に10か所を目標に実施</p> <p>(1)2回開催</p> <p>(2)1回開催 (3)情報共有システムの導入</p> <p>(1)月1回チーム会議の開催 (2)新規に5か所を目標に実施</p> <p>(3)2回開催</p> <p>(1)年度内に2回開催 (2)9月までに配置</p> <p>(3)先進地視察及び研修会開催</p> <p>平成29年1月までに計画を策定</p>
2	重点目標	国保制度改革への的確な対応と医療費適正化の推進
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
	<p>国民健康保険制度改革への準備</p> <p>・国保事業のあり方を財源も含め決定、システム改修・事務体制の見直しの実施</p> <p>・県提示の賦課方式、標準税率に基づく国保税率の改定</p> <p>医療費適正化の取組</p> <p>・第三期特定健診・特定保健指導実施計画・第二期データベース化計画の策定</p> <p>・特定健診・特定保健指導実施率の向上</p> <p>・生活習慣病の早期予防の意識付けのため若年健診を実施</p> <p>・第三者賠償請求の取組推進 ・後発医薬品の利用促進</p> <p>国保税収納率の向上と適用の適正化の推進</p> <p>・窓口での口座振替の勧奨、短期被保険者証の交付</p>	<p>・平成30年4月から運用</p> <p>・運営協議会の協議を経て平成30年2月議会に上程</p> <p>・平成30年3月末</p> <p>・特定健診受診率 40%</p> <p>・若年健診受診者数 400人</p> <p>・傷病届自主提出率 50%以上 ・後発医薬品使用割合 72%</p> <p>・7月納税通知郵送時の口座振替一斉勧奨</p> <p>・短期証の窓口交付の実施 9月、3月</p>
3	重点目標	福祉医療費給付金制度の見直し
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
	<p>福祉医療費給付金制度の見直し</p> <p>・現物給付方式移行への対応（H30年4月開始予定）</p>	<p>・給付方法変更に対応するシステムの構築</p> <p>・給付方法変更の広報 ・移行業務体制への準備</p>
4	重点目標	共生社会の実現を目指した障がい者支援の充実
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
	<p>障がいへの理解と啓発</p> <p>・障害者差別解消法への対応</p> <p>・職員の障がいへの理解の向上</p> <p>・市民等への啓発</p> <p>障がい特性に応じた支援体制の充実</p> <p>・地域生活支援拠点の体制整備</p> <p>・障がい者の権利擁護の推進</p> <p>障がいのある方の経済的な自立を支援</p> <p>・障害者就労施設等からの優先的な物品等の調達</p>	<p>障がい理由とした差別や合理的配慮の提供について 適切な相談対応</p> <p>・職員研修を4月と10月に開催 ・広報・出前講座による啓発を随時実施</p> <p>・支援台帳の整備・促進</p> <p>・緊急ショートステイ事業の円滑な運営と検証</p> <p>・障がい者虐待の防止と適切な虐待対応</p> <p>・障害者施策審議会への諮問・答申 ・広域的な会議での調整</p> <p>目標額：5,000千円</p> <p>事業者選定に向けた移譲方法を決定</p>
5	重点目標	生活困窮者の自立支援強化
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
	<p>生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者支援の適切な実施</p> <p>(1)就労準備支援事業の実施</p> <p>(2)家計相談支援事業の実施</p> <p>(3)子どもの学習支援事業の実施</p> <p>適切な生活保護の実施と制度の運用</p> <p>臨時福祉給付金(経済対策分)の適切な支給（申請期限6月26日）</p>	<p>(1)生活保護受給者を含め10名に対し支援を実施</p> <p>(2)自立相談支援事業者に職員を配置し家計管理面から支援を実施</p> <p>(3)生活保護受給世帯の中学1年や2年を中心に中学生6名に対し高校進学に向けた学習支援を実施</p> <p>・就労自立給付金等の活用により5世帯以上を就労による自立</p> <p>・看護師同行訪問等で40世帯を特定健診により受診</p> <p>・後発医薬品使用促進に向けた支援により、使用割合75%を確保</p> <p>申請分を9月までに完全給付</p>
6	重点目標	住民の参加と協働による地域福祉の推進
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
	<p>第二次地域福祉計画に基づく地域福祉の推進</p> <p>(1)住民支え合いマップの更なる有効活用と定着</p> <p>(2)マップの適切な維持管理と有効活用</p> <p>第三次地域福祉計画の策定</p>	<p>(1)台帳のデータベース化を検討。</p> <p>(2)要援護者情報の未更新自治会への対応</p> <p>・策定委員の委嘱（15名） ・策定委員会の開催（4回）</p> <p>・策定委員会からの答申、冊子印刷</p>

市長指示事項	市長指示事項
<p>・モデル的な事業については、着実に前進させること。・障がい者支援については、自立できるような支援をすること。・医療費低減に向け、特定健診は引き続き受診率向上を目指すこと。・給付金事業については、漏れの無いよう取り組むこと。・生活困窮者向け事業は効果が高くなるよう取り組むこと。</p>	<p>・特定健診の受診率向上を目指すこと。・国保の制度改革については、確実に移行できるようにすること。・認知症初期集中支援は、市民のサポートなど工夫すること。・3つの各計画についてはきちんと策定すること。</p>